



SHARE

SHARE 100M A10

検査用高性能中判カメラ SHARE 100M A10

SHARE 100M A10は、風力タービンや容易に停止できないインフラ設備の点検に対応するため、動いている被写体を正確に捉えられるようシャッター速度が向上しています。補助光を使用することで、橋の下やトンネル内などの暗所でもカメラの操作が可能です。さらに、110mmレンズを使用することで、最小GSDは自動フォーカス時に0.1mmに達し、精密な測定やサブミリメートルレベルのGSDが求められるプロジェクトに対応できます。従来モデルより動作安定性が大幅に向上し、シャッターの寿命も延長されました。



110mmオートフォーカスレンズ

焦点距離110mmのSHARE 100M A10は超音波モーター駆動のオートフォーカスシステムを搭載し、より速く、より正確なピント合わせを実現します。



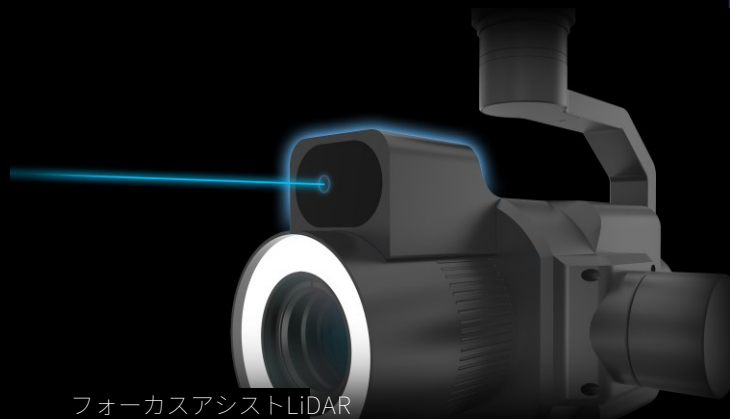
IndTustrial検査用に調整

IMX461中判イメージセンサーを搭載し、有効画素数1億200万画素、LiDARとリングフィル照明を統合したオートフォーカスレンズを搭載し、検査用途に最適です。



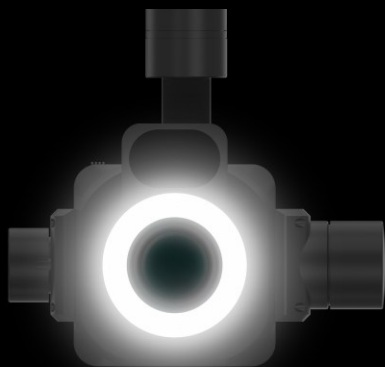
7枚レンズ設計

レンズ構造にはガラス非球面レンズを採用した7枚構成で、高い描写シャープネスとほぼゼロの歪みを確保し、安定した画質を実現しています。



フォーカスアシストLiDAR

LiDARは、100Hzのフレームレートで10mの範囲でセンチメートルレベルの距離測定精度を提供し、迅速な応答と正確なフォーカスアシストを提供します。



フロントリングフィル照明

内蔵のリングフィル照明は、周囲の光条件に基づいて明るさを調整し、暗い環境での補助照明を提供して適切な露出を確保します。



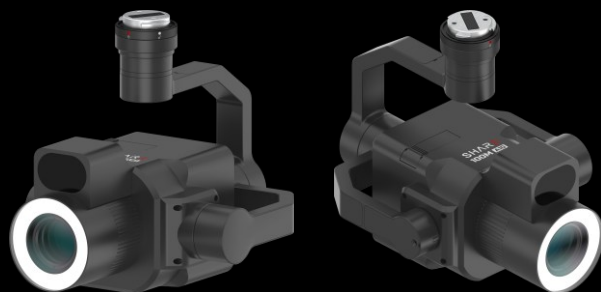
詳細なカスタマイズをサポート

検査ソフトウェアと組み合わせることで、さまざまな現場ニーズに適したカスタマイズされた検査ソリューションを提供します。



0.1mm解像度の画像キャプチャ

SHARE 100M A10は、3メートルから無限遠までの焦点範囲をサポートします。最短撮影距離では0.1mmの解像度で画像を撮影可能で、複雑な形状の橋梁や建物などの検査に最適です。



仕様

寸法と重量	161*184*236 mm、1270g
対応機種	DJI M350 RTK、複数の固定翼およびマルチロータードローン
カメラインターフェース	DJI Skyport、ユニバーサルインターフェース
有効画素数	1億200万画素
センサー仕様	サイズ：43.8*32.9mm ピクセルサイズ：3.76um
レンズ焦点距離	110mm
オートフォーカス範囲	3mから無限遠まで
パラメータ調整	ISO、ホワイトバランス、カラーモード、シャッタースピード、設定をBluetooth経由で調整可能
画像フォーマット	JPG、JPG&DNG、DNG
動画フォーマット	MP4、解像度:4K(3840×2160)、30fps
ストレージ容量	Type-Cインターフェースを備えたデュアル256GB統合ストレージモジュール
データ転送速度	300M/S以上

【お問い合わせ】

クウサツ・ドットコム株式会社

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西一条10丁目5-72 DAIKYOビル3F Tel 011-598-0210 mail sales@kuu-satsu.com